

## クォーターレポート 2018年度 第4四半期

- 1 経営からのコメント
- 2 連結決算の概要
- 3 新規店舗開業・閉店計画
- 4 連結業績
- 5 単体業績
- 6 パルコ店舗営業概況
- 7 会社別の業績
- 8 新業績予想
- 9 IFRS16号適用影響(参考)

※2017年度第1四半期よりIFRSを適用

### 1 経営からのコメント

中期経営計画（2017-2021年度）の2年目となる2018年度の連結決算は、2017年度に開業したパルコヤ上野や京都ゼロゲート、2018年度開業の原宿ゼロゲート、三宮ゼロゲートの貢献はあったものの、パルコ店舗事業の不振や、宇都宮パルコ、熊本パルコの営業終了決定に伴う損失などを計上したことなどにより、減収減益となりました。

パルコグループの中期経営計画の3つの戦術の一つ、「商業不動産プロデュース」では、2019年度に4つの異なる業態の物件をオープンいたします。すでに3月には既存の複合施設へ出店する形態で錦糸町パルコが開業しました。地元の銘店を誘致した飲食ゾーンやライフサポートテナントを導入するなどエリアの顧客ニーズを満たし好調にスタートしています。また今夏、地元企業との合併で沖縄県内最大級となるサンエー浦添西海岸パルコシティの開業を予定しているほか、今秋以降には11番目のゼロゲート業態として川崎への出店と初の都市再生特別地区を利用した新生渋谷パルコの開業を予定しています。加えて2021年春には大丸心齋橋店北館内への出店計画も含め、開発計画は順調に進捗しています。

一方、「ストアブランド進化」では、店舗を取り巻く商業環境の変化などを勘案し、宇都宮パルコを2019年5月末、熊本パルコを2020年2月末に営業終了することを決定しました。熊本パルコは、新たな商業施設の展開にむけた検討を進めています。また、パルコ50周年を迎えた今年、基幹店舗の周年祭や次世代型商業施設としての新生渋谷パルコの開業などのモチベーションを活かしたマーケットへのアプローチを強化していきます。さらに、マーケット特性に応じたパルコ店舗グループを都市型店舗とコミュニティ型店舗に再編し、店舗事業の改革を進めていくとともに、商業デベロッパー事業にかかわるノウハウを集約し、より効率的かつスピーディに魅力あるパルコストアブランドを提供していきます。

「ソフトコンテンツ拡大」では、エンタテインメント事業の新たな拠点として、2018年度、7月に渋谷にシネクイントを開業したことに加えて12月には吉祥寺パルコ内にアップリンク吉祥寺パルコを導入しました。さらに2019年度は新生渋谷パルコが開業し新拠点での当社独自のコンテンツの強味を活かした事業を推進していきます。専門店事業のヌーヴ・エイでは、オンライン新業態チックタックユーズドプラスを2018年9月にスタートしました。2019年度はパルコと協業して独自の新業態開発に取り組むほか、継続してスクラップ&ビルドを推進しデジタル戦略を加速させるなど既存事業の強化に注力します。

2019年度の1株当たりの年間配当は、パルコ50周年記念配当として2円増配し、26円を計画しています。

パルコグループは、パルコの情報発信力と編集力をさらに強化し世界中のお客様が期待する先進的な店づくりを行うとともに新しい時代を先取りした事業プロデュースを積極的に進め、中期経営計画達成に向けて業務を推進していきます。今後もパルコグループの活動にご注目ください。

## 連結決算の概要

2018年度決算においては、2017年度と2018年度に開業した店舗の貢献があったものの、パルコ店舗事業の競合影響や宇都宮パルコ、熊本パルコの営業終了決定に伴う損失を計上したことなどにより、減収減益

- 「営業収益」は、(株)パルコの2017年11月に開業したパルコヤ上野と京都ゼロゲート、2018年3月開業の原宿ゼロゲートや9月開業の三宮ゼロゲートによる寄与や総合空間事業の(株)パルコスペースシステムズでの大型工事受注増加などによる貢献はあったものの、一部パルコ既存店舗の不振や専門店事業の(株)ヌーヴ・エイの店舗数減少などにより減収。
- 「営業利益」、「当期利益」は、宇都宮パルコ、熊本パルコの営業終了決定に伴う損失やその他の店舗の減損損失をその他の費用に計上したことなどにより減益

## 新規店舗開業・閉店計画

2018年度	2019年度	2020年度以降
原宿ゼロゲート 2018年3月開業	錦糸町パルコ 2019年3月開業	大丸心齋橋店北館内(大阪市) 2021年春開業予定
三宮ゼロゲート 2018年9月開業	サンエー浦添西海岸 パルコシティ(沖縄県) ※1 2019年夏開業予定	
	川崎ゼロゲート ※2 2019年初秋開業予定	
	新生渋谷パルコ (宇田川町15地区開発計画) 2019年秋開業予定	
	宇都宮パルコ 2019年5月営業終了予定	
	熊本パルコ 2020年2月営業終了	

※1 (株)サンエーと(株)パルコとの合併会社である(株)サンエーパルコ(2016年12月設立)が運営事業などを行う予定

※2 仮称

# 連結業績

	2018年度	2017年度	増減額	前期比	計画額 ※1	増減額	計画比
	2018年度						
<b>2018年度</b>							
営業収益	89,969	91,621	▲1,651	98.2%	90,800	▲830	99.1%
営業原価	61,861	62,357	▲496	99.2%	-	-	-
営業総利益	28,108	29,263	▲1,155	96.1%	-	-	-
販売費及び一般管理費	19,384	18,979	405	102.1%	-	-	-
事業利益 ※2	8,723	10,284	▲1,560	84.8%	8,500	223	102.6%
営業利益	5,425	11,713	▲6,287	46.3%	5,100	325	106.4%
当期利益	3,370	7,809	▲4,438	43.2%	3,100	270	108.7%
一株当たり当期利益	33.30	76.97	▲43.67	43.3%	-	-	-
営業キャッシュフロー	4,529	21,386	▲16,857	-	-	-	-
投資キャッシュフロー	▲13,909	▲11,552	▲2,356	-	-	-	-
財務キャッシュフロー	5,610	▲7,897	13,508	-	-	-	-
EBITDA ※3	11,389	17,372	▲5,982	65.6%	-	-	-
<b>2018年度期末</b>							
資産合計	275,369	261,835	13,534	105.2%	-	-	-
資本合計	126,908	126,311	597	100.5%	-	-	-
有利子負債	61,740	52,820	8,920	116.9%	-	-	-

	2018年度	増減額	前年比
<b>連結主な販売費及び一般管理費</b>			
販売費及び一般管理費計	19,384	405	102.1%
人件費	8,315	283	103.5%
借地借家料	3,006	▲6	99.8%
宣伝費	580	▲84	87.2%
業務委託費	1,353	152	112.7%
減価償却費	882	25	103.0%
租税公課	777	▲40	95.0%

	2018年度	増減額	前年同期比
<b>連結セグメント別業績 ※4</b>			
<b>ショッピングセンター事業 (パルコ、パルコシガポール)</b>			
営業収益	51,117	▲233	99.5%
セグメント利益	5,142	▲5,821	46.9%
<b>専門店事業 (ヌーヴ・エイ)</b>			
営業収益	19,754	▲1,462	93.1%
セグメント損失	▲25	▲100	-
<b>総合空間事業 (パルコスペースシステムズ)</b>			
営業収益	21,882	483	102.3%
セグメント利益	662	9	101.4%
<b>その他の事業 (パルコデジタルマーケティング、エンタテインメント事業)</b>			
営業収益	6,327	169	102.8%
セグメント損失	▲297	▲350	-
<b>合計</b>			
営業収益	99,082	▲1,043	99.0%
セグメント利益	5,481	▲6,264	46.7%
<b>連結 (事業間での調整後)</b>			
営業収益	89,969	▲1,651	98.2%
セグメント利益	5,425	▲6,287	46.3%

	2018年度	増減額	主な内容
<b>連結主なその他の損益</b>			
その他の収益計	2,417	▲436	
受取補償金	1,951	-	渋谷再開発に関わる補償金
店舗閉鎖損失引当金戻入	-	▲432	前期 大津パルコなど
その他の費用計	5,715	4,290	
固定資産除却損	675	9	パルコ店舗改装による
減損損失	1,386	899	パルコ店舗減損損失など
店舗閉鎖損失	3,139	3,139	宇都宮パルコ、熊本パルコ営業終了予定

	2018年度	増減額
<b>連結主な金融収支、持分法による投資損益</b>		
金融収益計	154	10
受取利息	152	10
金融費用計 (支払利息など)	537	165
持分法による投資損益計	6	35

- ※1 計画額は2019年2月28日に公表した対外発表計画値  
 ※2 事業利益は「営業総利益 - 販売費及び一般管理費」で算出  
 ※3 EBITDAは「営業利益 + 減価償却費(連結キャッシュ・フロー計算書の減価償却費及び償却費)」で算出  
 ※4 (株)パルコのエンタテインメント事業の業績は「その他の事業」に含まれる

# 単体業績

	2018年度		2017年度		増減額	前期比	2018年度	
	2018年度	2017年度	増減額	前期比			計画額 ※1	増減額
2018年度								
営業収益	56,288	56,462	▲173	99.7%	56,241	47	100.1%	
営業総利益	17,105	17,766	▲661	96.3%	-	-	-	
事業利益	8,068	9,338	▲1,269	86.4%	7,843	224	102.9%	
営業利益	4,792	11,016	▲6,224	43.5%	4,520	271	106.0%	
当期利益	3,237	7,680	▲4,442	42.2%	3,078	159	105.2%	
2018年度期末								
資産合計	271,909	258,562	13,347	105.2%	-	-	-	
資本合計	125,596	125,089	507	100.4%	-	-	-	

主な営業原価	2018年度		2017年度		増減額	前期比
	2018年度	2017年度	増減額	前期比		
営業原価計	39,183	38,705	478	101.3%		
人件費	1,794	1,938	▲144	92.7%		
借地借家料	9,392	9,099	293	104.4%		
宣伝費	4,956	4,736	▲214	95.9%		
業務委託費	4,434	4,512	▲78	98.7%		
減価償却費	5,100	4,823	277	106.0%		
水道光熱費	3,639	3,573	66	101.9%		
営繕費	1,620	1,664	▲44	97.3%		
その他の売上原価	3,926	3,704	222	106.6%		

主な販売費及び一般管理費	2018年度		2017年度		増減額	前期比
	2018年度	2017年度	増減額	前期比		
販売費及び一般管理費計	9,036	8,429	607	107.2%		
人件費	3,996	3,748	248	106.9%		
借地借家料	677	602	75	112.5%		
宣伝費	236	281	▲45	81.0%		
業務委託費	1,111	1,042	69	110.7%		
減価償却費	480	409	71	117.5%		
租税公課	569	541	▲28	95.2%		

パルコ 店舗別テナント取扱高 ※3	2018年度		2017年度		増減額	前期比
	2018年度	2017年度	増減額	前期比		
札幌パルコ	13,200	12,900	300	98.4%		
仙台パルコ	20,197	19,800	397	100.8%		
池袋パルコ	28,134	27,900	234	98.9%		
パルコヤ上野	5,788	5,788	0	-		
渋谷パルコ	1,413	1,163	250	124.2%		
静岡パルコ	9,947	9,500	447	93.8%		
名古屋パルコ	34,245	33,800	445	98.8%		
広島パルコ	16,136	15,800	336	96.5%		
福岡パルコ	22,350	22,100	250	100.5%		
都心型店舗グループ9店舗 計	151,415	149,300	2,115	101.2%		
宇都宮パルコ	2,113	2,113	0	69.0%		
浦和パルコ	26,095	25,900	195	106.0%		
新所沢パルコ	10,126	9,900	226	95.4%		
津田沼パルコ	12,091	11,800	291	113.2%		
ひばりが丘パルコ	7,071	6,800	271	86.6%		
吉祥寺パルコ	9,668	9,500	168	100.5%		
調布パルコ	17,994	17,700	294	96.9%		
松本パルコ	6,016	5,900	116	82.7%		
熊本パルコ	4,007	3,900	107	80.3%		
コミュニティ型店舗グループ9店舗 計 ※4	95,185	93,300	1,885	95.3%		
合計 ※4	246,600	243,600	3,000	98.9%		
既存店計 ※5	240,811	238,300	2,511	98.3%		

主なその他の損益	2018年度		2017年度		増減額	主要内容
	2018年度	2017年度	増減額	前期比		
その他の収益計	2,368	1,882	486	▲468		
受取補償金	1,951	1,951	0	-	渋谷再開発に関わる補償金	
店舗閉鎖損失引当金戻入	-	432	▲432	▲432	前期 大津パルコ	
その他の費用計	5,644	1,159	4,485	4,485		
固定資産除却損	698	667	31	31	パルコ店舗改装による	
減損損失	1,296	236	1,060	1,060	パルコ店舗減損損失など	
店舗閉鎖損失	3,147	0	3,147	3,147	宇都宮パルコ、熊本パルコ営業終了予定	

主な金融収支	2018年度		2017年度		増減額
	2018年度	2017年度	増減額	前期比	
金融収益計	405	379	26	▲26	
受取利息	157	142	15	9	
受取配当金 ※2	248	237	11	▲36	
金融費用計(支払利息)	551	384	167	167	

※1 計画額は2019年2月28日に公表した対外発表計画値

※2 子会社からの受取配当金

※3 「テナント取扱高」とは、パルコ店舗におけるテナント取扱高の合計値

※4 前期比の元となる前期値に、大津パルコ(2017年8月31日閉店)の値を含む

※5 既存店計には、パルコヤ上野(2017年11月4日開業)の値を含まない

## パルコ店舗営業概況

アイテム別テナント取扱高（既存店）	前期比
婦人服	89.4%
紳士服	90.0%
衣料品総合	100.7%
衣料品計	94.1%
靴	93.6%
バッグ	88.9%
装身具	92.5%
化粧品	107.9%
身回品計	98.9%
雑貨計	97.7%
食品	109.3%
飲食	99.8%
その他（サービスほか）	104.2%

買上客数、客単価（既存店）	前期比
買上客数	103.2%
客単価	95.2%

	百万円		
	取扱高	前年同期比	取扱高シェア
クレジットカード概況（既存店）			
クレジットカード	106,985	96.9%	44.4%
パルコカード	50,317	90.6%	20.9%

改装概況	
改装区画数	348
内、新規出店区画数	193
改装面積	約37,000㎡
ゾーン取扱高前年同期比	116.2%

月別テナント取扱高対前年同期比推移	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全店合計	100.6%	98.6%	94.4%	103.8%	94.0%	100.3%
既存店計	99.9%	98.1%	93.9%	103.3%	93.4%	100.2%
	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全店合計	101.1%	102.5%	97.4%	98.8%	96.7%	100.3%
既存店計	98.8%	100.2%	98.1%	-	-	-

主な店舗のインバウンドテナント取扱高実績（参考）	百万円				
	札幌パルコ	池袋パルコ	福岡パルコ	名古屋パルコ	既存店計
インバウンドテナント取扱高前年同期比	109.2%	99.8%	135.7%	154.3%	115.2%
同各店舗取扱高シェア	13.5%	3.9%	3.6%	2.0%	2.1%
同各店舗取扱高シェア前年同期差	1.3%	0.0%	0.9%	0.7%	0.3%

※ インバウンドテナント取扱高実績には、海外発行クレジットカード取扱高のほか、中国系モバイル決済手段を含む

※ 既存店計には、パルコヤ上野の値を含まない

## 会社別の業績

	百万円		
	2018年度	増減額	
<b>パルコ</b>			
営業収益	56,288	▲173	新規開業店舗の貢献があったものの、一部パルコ既存店舗の不振や
営業利益	4,792	▲6,224	宇都宮パルコと熊本パルコの営業終了決定に伴う店舗閉鎖損失を
当期利益	3,237	▲4,442	計上したことなどにより減収減益
<b>ヌーヴ・エイ</b>			
営業収益	19,754	▲1,462	前期と今期に進めた不採算店舗の削減や、インバウンドに関わる環境
営業損失	▲25	▲100	の変化などにより減収減益
当期損失	▲71	▲111	
<b>パルコスペースシステムズ</b>			
営業収益	21,882	483	外部クライアントやパルコテナントの内装工事受注の増加などにより
営業利益	662	9	増収増益
当期利益	464	18	
<b>パルコデジタルマーケティング</b>			
営業収益	1,017	134	商業施設向けICT活用サービスの積極的な提案などが奏功し、増収
営業利益	77	9	増益
当期利益	50	0	
<b>パルコシンガポール</b>			
営業収益	148	▲20	日系飲食集積ゾーンは堅調も、前期実施したキャラクターカフェの反動
営業損失	▲25	42	影響などにより減収。損失は縮小
当期損失	▲24	42	

※ パルコを除く4社の、パルコによる所有割合は100%

	2019年度		2019年度	
	2Q累計	前年同期比	4Q累計	前期比
	百万円			
<b>連結2019年度</b>				
営業収益	45,800	103.7%	116,200	129.2%
事業利益 ※1	5,500	109.1%	10,500	120.4%
営業利益	6,200	108.6%	12,700	234.1%
親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益	3,500	92.4%	7,100	210.7%
基本的1株当たり当期（四半期）利益	34.62	—	70.23	—

	2019年度		2019年度	
	2Q累計	前年同期比	4Q累計	前期比
	百万円			
<b>単体2019年度</b>				
営業収益	29,402	106.5%	81,553	144.9%
事業利益 ※1	5,228	109.5%	9,436	117.0%
営業利益	5,994	108.6%	11,783	245.9%
当期（四半期）利益	3,542	90.8%	6,745	208.3%

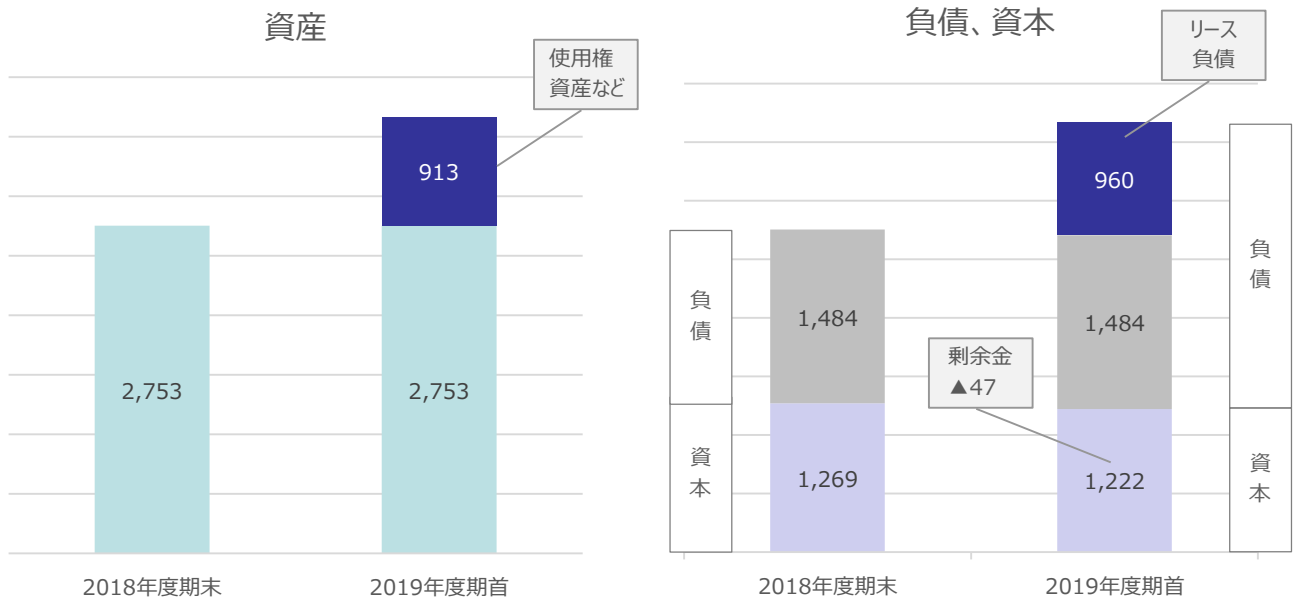
	1Q,2Q計	3Q,4Q計	4Q累計
	<b>テナント取扱高対前年同期比予想</b>		
全店合計	106.8%	112.0%	109.4%
既存店計 ※2	102.5%	103.4%	103.0%

※1 事業利益は「営業総利益 - 販売費及び一般管理費」で算出

※2 テナント取扱高対前年同期比予想は、錦糸町パルコ（2019年3月16日開業）、宇都宮パルコ（2019年5月末営業終了予定）および渋谷パルコ（2019年秋開業予定）を含まない

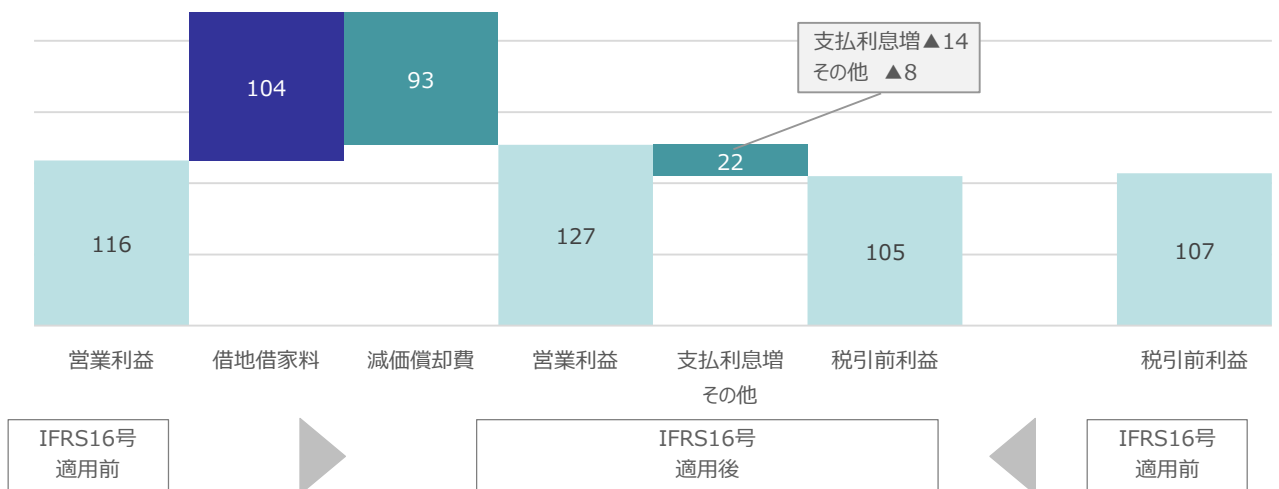
# 参考)IFRS16号適用影響

単位：億円



## 2019年度予想 営業利益、税引前利益

単位：億円



※2019年度のIFRS16号適用後の期初の数値は監査前の概算数値であり、今後変更の可能性あり

PARCO  
[www.parco.co.jp](http://www.parco.co.jp)